

■使用評価マニュアル：北九州市建築物総合環境性能評価制度マニュアル

■使用評価ソフト：CASBEE北九州\_2014(v2.0)

## 1 建物概要

建物名称	徳力団地診療所・とくりき春吉園	BEE	1	BEEランク	B+	★★★
------	-----------------	-----	---	--------	----	-----

## 2 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価	
1 循環型社会への貢献	3.2 /5	(4 icons)	ふつう	
2 地球温暖化対策の推進	3.1 /5	(3 icons)	ふつう	
3 豊かな自然環境の確保	2.6 /5	(3 icons)	がんばろう	
4 高齢社会への対応	3.0 /5	(3 icons)	ふつう	
※ 対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

## 3 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

使用CASBEE評価マニュアル: CASBEE-建築(新築) 2016年版	使用CASBEE評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v.2.1)
1 循環型社会への貢献	スコア平均 3.2
リサイクルに関する配慮 LR2/ 2 非再生性資源の使用量削減	長寿命化に関する配慮 Q2/ 2.2 部品・部材の耐用年数 スコア 3.2 Q2/ 3 対応性・更新性 スコア 2.9
再生骨材の路盤材等リサイクル材を採用し、資源の保護に配慮した。	特になし。
2 地球温暖化対策の推進	スコア平均 3.2
省エネ・省資源に関する配慮 LR3/ 1 地球温暖化への配慮	節水に関する配慮 LR2/ 1.1 節水 スコア 3 節水コマなどを取り付け節水に取り組むよう配慮した。
特になし。	
3 豊かな自然環境の確保	スコア平均 2.7
生態系保全に関する配慮 Q3/ 1 生物環境の保全と創出	緑化に関する配慮 Q3/ 3.2 敷地内温熱環境の向上 スコア 3 LR3/ 2.2 温熱環境悪化の改善 スコア 2
敷地内にある既存の生垣については、移植することとし、生物資源の復元に努めるようにした。	特になし。
4 高齢社会への対応	スコア平均 3.0
バリアフリーに関する配慮 Q2/ 1.1.3 バリアフリー計画	主な指標 建物の外皮性能 (BPI評価) 非住宅: BPI値、住宅: 省エネ等級 0.73 建物の一次エネルギー消費量 (BEI評価) 非住宅: BEIm値、住宅: — 0.90 外構緑化指數 44.00 % 建物緑化指數 8.91 %
バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たすよう配慮した。	



: 入力欄



: CASBEE-建築(新築)の採点結果から転記してください。

# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

## 1-1 建物概要

建物名称	徳力団地診療所・とくろき春吉園
建設地	福岡県北九州市小倉南区徳力団地2番の一部
用途地域	第一種中高層住居専用地域
地域区分	6地域
建物用途	病院,
竣工年	2018年6月 予定
敷地面積	173,382 m <sup>2</sup>
建築面積	668 m <sup>2</sup>
延床面積	2,070 m <sup>2</sup>

階数 地上4F

構造 S造

平均居住人員 70人

年間使用時間 8,760時間/年(想定値)

評価の段階 実施設計段階評価

評価の実施日 2017年10月6日

作成者 白川直行

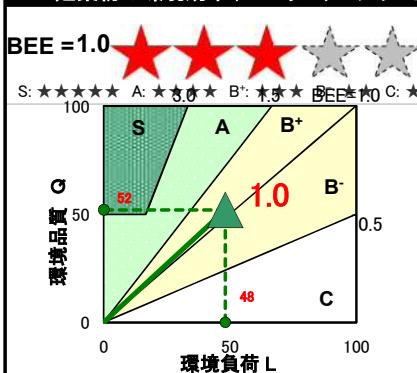
確認日 2017年10月7日

確認者 近藤陽吉

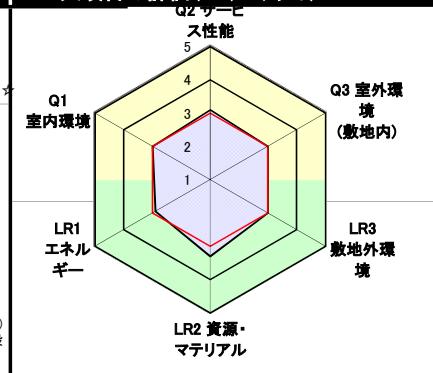
## 1-2 外観



## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&amp;チャート)

2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

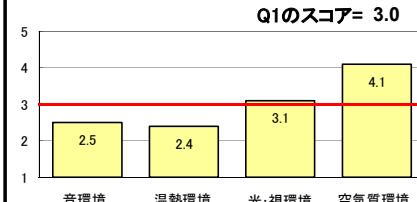
## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



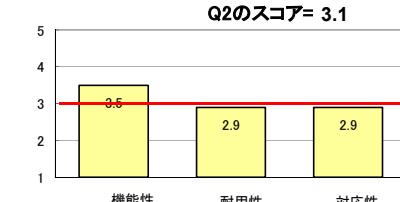
## 2-4 中項目の評価(バーチャート)

## Q 環境品質

## Q1 室内環境

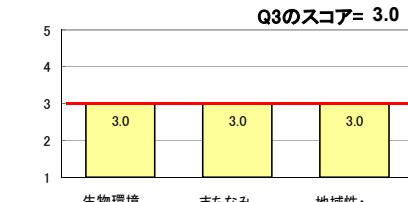


## Q2 サービス性能



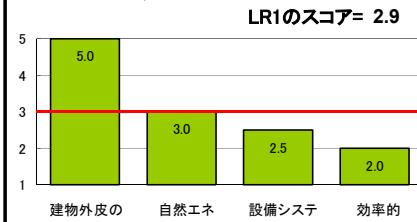
## Q のスコア= 3.0

## Q3 室外環境 (敷地内)

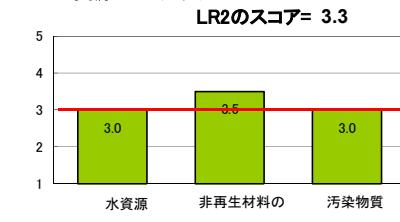


## LR 環境負荷低減性

## LR1 エネルギー



## LR2 資源・マテリアル



## LR のスコア= 3.0

## LR3 敷地外環境



## 3 設計上の配慮事項

## 総合

入居者の室内環境・サービス性能に配慮し、快適性の向上に努めた。また、近隣環境への配慮から、敷地内緑化や屋上緑化にも積極的に取り組んだ。

## その他

特になし。

## Q1 室内環境

建築基準法規制対象外となる建築材料を多く利用し、より良い空気質環境となるように配慮した。

## Q2 サービス性能

照明計画と内装計画を一体として計画し、魅力的で居心地の良い空間となるように配慮した。また、汚れやすい部屋には防汚性の高い建材を使用することにより、清潔な空間を保てるよう維持管理面においても配慮した。

## Q3 室外環境 (敷地内)

敷地内にある既存の生垣については、移植することとし、生物資源の復元に努めるようにした。

## LR1 エネルギー

特になし。

## LR2 資源・マテリアル

再生骨材の路盤材等リサイクル材を採用し、資源の保護に配慮した。

## LR3 敷地外環境

敷地内に車寄せのアプローチをとることにより、建物利用者による交通渋滞を招かないよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版 徳力団地診療所・とくりき春吉園		■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)						
スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目								
Q 建築物の環境品質								3.0
Q1 室内環境					0.40	-		3.0
1 音環境				2.6	0.15	2.5	1.00	2.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				3.0	0.40	2.8	0.40	
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	2.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 溫熱環境				2.4	0.35	2.3	1.00	2.4
2.1 室温制御				2.7	0.50	2.5	0.50	
1 室温				3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能				2.0	0.25	2.0	0.43	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境				2.9	0.25	3.8	1.00	3.1
3.1 昼光利用				4.2	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		昼光率 共用部分:4.4% 宿泊部分:2.9%		5.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				2.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御		バルコニー庇設置 居室はカーテン利用		2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度				2.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		居室は全て個室		3.0	0.25	5.0	0.25	
4 空気質環境				4.1	0.25	4.1	1.00	4.1
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63	
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を採用		5.0	1.00	5.0	1.00	
4.2 換気				2.0	0.30	2.6	0.38	
1 換気量		自然換気有効開口面積が居室の床面積の1/11		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能				1.0	0.50	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮				5.0	0.20	-	-	
4.3 運用管理				-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視		全館禁煙		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.3	0.40	4.4	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性		居室内法面積:10.70m <sup>2</sup> (最小値)		-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 パリアフリー計画				3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観		居室の天井高:2.5m		-	4.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	1.00	3.0	0.50	
3 内装計画				4.0	0.30	-	-	
1.3 維持管理				4.0	0.50	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		内装材は防汚性の高い建材で水拭き可 外部金属はアルミ製アルマイト処理		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃用具室・専用洗い場の設置ゴミ置場及び搬出ルート確保		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-	
1 軸体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				4.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.9</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>2.6</b>	0.50	
1 階高のゆとり		<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.60	
2 空間の形状・自由さ		<b>3.0</b>	0.40	<b>2.0</b>	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	
1 空調配管の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
2 給排水管の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
3 電気配線の更新性		<b>3.0</b>	0.10		-	
4 通信配線の更新性		<b>3.0</b>	0.10		-	
5 設備機器の更新性		<b>3.0</b>	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保		<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>		-	-	-	-	<b>3.0</b>
<b>LR1 エネルギー</b>		-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.9</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>	[BPI][BPIm]= 0.73	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>		<b>3.0</b>	0.10		-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>	[BEI][BEIm] = 0.90	<b>2.5</b>	0.50		-	<b>2.5</b>
<b>4 効率的運用</b>		<b>2.0</b>	0.20		-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価		<b>2.0</b>	1.00		-	
4.1 モニタリング		<b>3.0</b>	0.50		-	
4.2 運用管理体制		<b>1.0</b>	0.50		-	
集合住宅の評価		<b>2.0</b>	-		-	
4.1 モニタリング		<b>3.0</b>	-		-	
4.2 運用管理体制		<b>1.0</b>	-		-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 水資源保護</b>		<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
<b>1.1 節水</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>		<b>3.0</b>	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	0.70		-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>		<b>3.5</b>	0.60		-	<b>3.5</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>	BCR295・SN400B他	<b>3.0</b>	0.10		-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>		<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>2.3 車体材料におけるリサイクル材の使用</b>		<b>3.0</b>	0.20		-	
<b>2.4 車体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>	鉄鋼スラグ混入路盤材(アスファルト舗装) パーティクルホールド	<b>4.0</b>	0.20		-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>		<b>2.0</b>	0.10		-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>	躯体+軽量鉄骨+仕上材	<b>5.0</b>	0.20		-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>		<b>3.0</b>	0.20		-	<b>3.0</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>		<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>		<b>3.0</b>	0.70		-	
1 消火剤		-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		<b>3.0</b>	0.50		-	
3 冷媒		<b>3.0</b>	0.50		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>		-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	排出率:92%	<b>3.3</b>	0.33		-	<b>3.3</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>		<b>2.5</b>	0.33		-	<b>2.5</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>		<b>3.0</b>	0.25		-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>		<b>2.0</b>	0.50		-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>		<b>3.3</b>	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		-	-		-	
2 污水処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.33		-	
3 交通負荷抑制		<b>4.0</b>	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制		<b>3.0</b>	0.33		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>		<b>3.1</b>	0.33		-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	
1 騒音		<b>3.0</b>	1.00		-	
2 振動		-	-		-	
3 悪臭		-	-		-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>		<b>3.0</b>	0.40		-	
1 風害の抑制		<b>3.0</b>	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-		-	
3 日照阻害の抑制		<b>3.0</b>	0.30		-	
<b>3.3 光害の抑制</b>		<b>3.7</b>	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		<b>4.0</b>	0.70		-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		<b>3.0</b>	0.30		-	
設備設計事務所による計画(設計) 屋外広告物照明は無し						